



©武論尊・原哲夫/NSP 1983. ©NSP 2007 著作権保証YSC-506 ©Sammy

◎パチスロ北斗の拳 修羅の国篇

大人気「北斗」シリーズの最新作が新基準機のART機として初登場。

ARTのゲーム性は人気の「転生」をベースにした作りですが、

バトル連敗のピンチを回避する、「勝舞」などの新機能が追加。

初当たり確率も、前作「強敵」より軽くなって、打ちやすさがアップしています。

シリーズ機の魅力を結集させた、文句なしの注目機といえるでしょう。

A+ART機。1セット50G+αのART「闘神演舞」(純増約2枚/G)、獲得枚数約150枚のボーナスを搭載。「真・北斗カウンター」、7連ごとの継続確定演出など、新機能も盛り沢山。

連敗回避のお助け機能が追加!

本機はA+ART機で、コイン単価は約2.8円(設定1)。ベースは50枚当たり約37.2G、出玉率は97.9~115.1%、ボーナス+ART初当たり確率は約1/299.7~1/188.4です。天井は1300G。

■通常時のゲーム性

通常時は、北斗シリーズ王道のレア役からARTを目指すゲーム性です。スイカ・チェリー・チャンス目でARTを抽選、前兆演出を經由して、ART突入となります。

今作では、レア役を引いた際に点灯し、期待感を盛り上げる液晶上の「北斗カウンター」が「真・北斗カウンター」に進化。

チャンス時にカウンターが燃える液晶演出が追加されたほか、点灯中に同一小役を重ねて引くと、高確や前兆といった、上位モードに移行することも。

■ボーナス

ボーナス獲得枚数は約150枚。通常時の当選とART中の当選で、性質が異なります。

通常時のボーナス「天舞の刻」では、滞在中に小役でART突入のカギとなる「あべし」の獲得抽選を実施。ボーナス後に、獲得した「あべし」を使って、「修羅バトル」に勝利すればART突入となります。

一方、ART中のボーナス「闘神演舞TURBO」は、ART継続のカギとなる「勝舞魂」をストック。後述する「ATレベル」が高い状態で当選するほど、上乘せ性能がアップします。

■ART

ARTは、純増約2枚/G、1セット50Gの「闘神演舞」。

基本は、「転生」同様、継続のカギとなる「勝舞魂」を貯め、バトルで継続を決めるタイプです。開始時などに決まる「ATレベル」によって、「勝舞魂」の獲得率が変動します。

新機能として、7連ごとに、エピソード演出が発生。次回継続が確定する「金勝舞魂」が獲得できます。

演出面では、前兆告知タイプのケンシロウ、後告知のシャチ、完全告知のカイオウが選択可能になりました。

継続をかけたバトル「神拳勝舞」の演出も、選ぶキャラで異なるので、多彩な戦いが楽しめるでしょう。

バトル中のチャンス演出ですが、液晶に大きく「勝舞」の文字が現れると、次ゲームの勝率が大幅増。同様に「拳力」の出現で、当該ゲームの勝率が大幅に高まります。

「拳力」は、「神拳勝舞」での連敗が続くほど、発生率がアップ。大連敗でART終了という流れを回避する、新

しい仕掛けとなっています。

また、「7を狙え!」演出が発生し、7がそろえば、「死闘」に。勝利すれば(約75%)、高継続(84%または89%)の特化ゾーン「特闘」へ移行します。

シリーズとしては初の新基準ART機ですが、ART中に「勝舞」などのお助け演出が加わり、一気に勝舞魂がなくなっていくようなときにも、期待感が持ちやすい作り。

通常時も、レア役の重ね引きに恩恵があるなど、ユーザーの「あったらいいのに」という期待に応えています。

純増が抑えられた分、初当たりが「強敵」などよりも軽くなって、打ちやすさがアップ。大量出玉獲得の仕掛けも健在で、非常に楽しみです。

10月3日から市場導入開始で、販売台数は約8万台予定とのこと。

販売台数がかなり多めなので、適正台数に注意しながらの運用が望ましいと思います。

PROFILE

糸柳達成 (いとやなぎ たつなり)

株式会社アテイン 代表取締役

関東老舗ホールで店長として新規・リニューアル含めて6店舗を経験。その後経営コンサルタントとして独立して10年。業界歴は27年以上。現在は、経営コンサルタントのほかにも、TV出演、コラム執筆、セミナー、集客企画などマルチな活動を行う。TwitterなどのSNSやニコ生などのウェブを使った動画配信による情報発信も(詳しくはitoyanagi.net参照)。